

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	長野県福祉大学校
設置者名	長野県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
保育士養成課程	保育学科	夜・通信	75 単位	6 単位	
介護福祉士養成課程	介護福祉学科	夜・通信	50 単位	3 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上に公表 https://www.pref.nagano.lg.jp/fukushidai/kyouikujoyouhou.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	長野県福祉大学校
設置者名	長野県

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	長野県福祉大学校外部評価委員会
役 割	(外部評価の方法) ・学校関係者評価は本校が実施した教育活動及び自己評価に対し、意見を述べることにより行う。 ・外部評価の結果について、自己評価及び次年度の重点目標等に反映するよう努めている。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	始期から終期	備考（学校と関連する経歴等）
長野県諏訪実業高等学校長	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日	近隣の高等学校関係者
諏訪市清水町4区長	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日	大学校の所在する地区の住民
長野県福祉大学校後援会長	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日	大学校在籍学生の保護者
長野県福祉大学校同窓会長	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日	大学校及び長野県保育専門学校の卒業生で組織する会
諏訪市社会福祉協議会長	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日	社会福祉団体関係者
(備考) 令和7年（2025年）3月8日に外部評価会議を実施済。		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野県福祉大学校
設置者名	長野県

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 2月上旬に次年度の授業計画書について各講師に所定の様式に沿って作成を依頼 2月下旬に取りまとめを行い、講師会議を経て公表する。 シラバスには授業の方法(講義、演習、実習の別)成績評価の方法・基準(筆記試験、レポート、作品等の別)、学習の進め方、授業到達目標、テキスト、講師の実務経験、各回の授業内容と授業のねらいを記載する。													
授業計画書の公表方法	ホームページ上に公表 https://www.pref.nagano.lg.jp/fukushidai/kyouikujyouthou.html												
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・長野県福祉大学校規則第8条により校長は、教科目を履修して成績審査に合格した者に対し、当該教科目及び単位数又は時間数の修得を認定し、成績審査は、筆記試験、論文、報告書等によって行う。また教科目ごとに授業時間の3分の1以上(介護福祉学科の介護実習にあつては、5分の1以上)を欠席した者は、当該教科目について成績審査を受けることができないと規定している。 ・各教科目の成績審査の方法はシラバス上に記載する。 ・各学期の成績認定会議において全員の成績を認定している。 ・成績審査の評価基準は、次の表のとおりである。各教科目について「秀」、「優」、「良」又は「可」と評価されたときは、その教科目は修得と認定し、「不可」と評価されたときは、その教科目は修得と認定しない。 ・各学生の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与、または履修認定を実施している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価基準</th><th>取得点数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秀</td><td>90点以上</td></tr> <tr> <td>優</td><td>80点以上 90点未満</td></tr> <tr> <td>良</td><td>70点以上 80点未満</td></tr> <tr> <td>可</td><td>60点以上 70点未満</td></tr> <tr> <td>不可</td><td>60点未満</td></tr> </tbody> </table>		評価基準	取得点数	秀	90点以上	優	80点以上 90点未満	良	70点以上 80点未満	可	60点以上 70点未満	不可	60点未満
評価基準	取得点数												
秀	90点以上												
優	80点以上 90点未満												
良	70点以上 80点未満												
可	60点以上 70点未満												
不可	60点未満												

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 1 GPA制度について 本校では学生の学習意欲を高めるとともに、教育の質の保証について一層の具体化を進めるためGPA 制度を導入している。 2 GPAの算出方法 学期ごとに学修の状況及び成績を示す指標としてGPAを算出し、累積のGPAを示すとともに、卒業時に在学中における全学期の学修の状況を示す指標として算出する。GPA算出の計算式は、以下のとおりで、算出された数値の小数点第3位以下は四捨五入するものとする。 (1) 学期GPAの計算式 $\text{当該学期の〔秀の単位数〕} \times 4 + \text{〔優の単位数〕} \times 3 + \text{〔良の単位数〕} \times 2 + \text{〔可の単位数〕} \times 1 \div \text{当該学期の総履修単位数}$ (2) 累積GPAの計算式 $\text{入学から当該学期までの〔秀の単位数〕} \times 4 + \text{〔優の単位数〕} \times 3 + \text{〔良の単位数〕} \times 2 + \text{〔可の単位数〕} \times 1 \div \text{入学から当該学期までの総履修単位数}$ (3) 卒業時GPAの計算式 $\text{全期間の〔秀の単位数〕} \times 4 + \text{〔優の単位数〕} \times 3 + \text{〔良の単位数〕} \times 2 + \text{〔可の単位数〕} \times 1 \div \text{全期間の総履修単位数}$ 成績審査の評価基準は、秀が90点以上、優が80点以上90点未満、良が70点以上80点未満、可が60点以上70点未満とする。 3 GPAの活用 卒業時成績優秀者の選考基準として利用する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ上に公表 https://www.pref.nagano.lg.jp/fukushidai/documents/gpa.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業認定方針 本校の教育方針に沿って学修し、必要単位を修得した学生が次の到達目標に達した人材であると認定したものに卒業を認め専門士を授与する。 保育学科の到達目標は次のとおり。 1 社会の発展に対する視点を持ち、知恵と力を出し合うことができる。 2 人権を尊重し、情操や愛情が豊かである。 3 専門的知識・技術を修得し対象者に応じた指導・援助が展開できる。 介護福祉学科においても同様の方針である。 卒業必要単位は保育学科にあっては76単位、介護福祉学科にあっては51単位である。2月に行う成績認定会議において卒業の可否を決定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ上に公表 https://www.pref.nagano.lg.jp/fukushidai/documents/sotugyouninte.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	長野県福祉大学校
設置者名	長野県

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		保育士養成課程	保育学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	76 単位	435/29 単位時間 ／単位	1320/45 単位時間 ／単位	240／6 単位時間 ／単位	/ 単位時間 ／単位	45／1 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		79 人	0 人	6 人	27 人	33 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業方法は講義、演習、実習、実技により行う。 ・シラバスに学習の進め方、授業到達目標、各回の授業内容と授業のねらいを記載する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・各教科目の成績審査（筆記試験、レポート、作品等）の方法はシラバス上に記載する。 ・各学期の成績認定会議において全員の成績を認定する。 ・成績審査の評価基準は、秀(90点以上)優(80点以上90点未満)良(70点以上80点未満)可(60点以上70点未満)と評価されたときは、その教科目は修得と認定し、不可(60点未満)と評価されたときは、その教科目は修得と認定しない。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定方針 本校の教育方針、教育目標に沿って学修し、必要単位を修得した学生が次の到達目標に達した人材であると認定したものに専門士を授与する。 保育学科の到達目標は次のとおり。 1 創造力に富み、誰からも愛される人材。

2 地域を愛し、地域に貢献する人材。 3 主体的に学び行動できる人材。 2月に行う成績認定会議において進級及び卒業の可否を決定する。
学修支援等
(概要) ・クラス担任を中心に学科全体で日常的な指導を行っている。 ・入学前に、文章作成及び教養問題の課題を出している。希望者には、ピアノの個人レッスンも行っている。 ・教科目ごとに欠席数が全体の1/5になった場合には本人と面談を実施、1/3になる前に保護者を含めて面談を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
42 人 (100.0%)	13 人 (31%)	29 人 (69%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育所 幼稚園 児童福祉施設			
(就職指導内容) 教養試験対策講座、面接試験対策講座、個別指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格、幼稚園教諭2種（連携する短期大学への併修者）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
令和6年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88 人	3 人	3.7 %
(中途退学の主な理由) 一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教科目ごとに欠席数が全体の1/5になった場合には本人と面談を実施、1/3になる前に保護者を含めて面談を実施している。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
教育・社会福祉		介護福祉士養成課程	介護福祉学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1275／51 単位時間／単位	345／23 単位時間 ／単位	660／22 単位時間 ／単位	270／6 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20 人	12 人	0 人	3 人	23 人	26 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業方法は講義、演習、実習により行う。 ・シラバスに学習の進め方、授業到達目標、各回の授業内容と授業のねらいを記載する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・各教科目の成績審査の方法はシラバス上に記載する。 ・各学期の成績認定会議において全員の成績を認定する。 ・成績審査の評価基準は、秀(90 点以上)優(80 点以上 90 点未満)良(70 点以上 80 点未満)可(60 点以上 70 点未満)と評価されたときは、その教科目は修得と認定し、不可(60 点未満)と評価されたときは、その教科目は修得と認定しない。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定方針 本校の教育方針、教育目標に沿って学修し、必要単位を修得した学生が次の到達目標に達した人材であると認定したものに専門士を授与する。 到達目標は次のとおり。 1 創造力に富み、誰からも愛される人材。 2 地域を愛し、地域に貢献する人材。 3 主体的に学び行動できる人材。 卒業に必要な単位は 51 単位である。2 月に行う成績認定会議において卒業の可否を決定する。
学修支援等
（概要） ・クラス担任を中心に学科全体で日常的に指導を行っている。 ・入学前に課題に取り組み、その内容の試験を行っている。 ・国家試験に向けた対策を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17 人 (100.0%)	0 人 (0%)	17 人 (100.0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 保育所 児童福祉施設 社会福祉施設（障がい者、医療法人等）			
（就職指導内容） 教養試験対策講座、面接試験対策講座、個別指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士受験資格 普通救命救急講習			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
令和6年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学当初から学科全体で学修意欲が継続できるよう働きかける。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
保育学科	24,000円	166,800円	40,000円	
介護福祉学科	24,000円	166,800円	40,000円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				
・経済的理由により納付が困難な学生に対し、授業料の減免を行う。 ・退学した学生には退学した日の属する月の翌月からの授業料月額を減免する。 ・休学している学生は休学に入る前日の属する月の翌月から復学する日の属する月の前月までの月数の授業料月額を減免する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.pref.nagano.lg.jp/fukushidai/documents/r6jikohyouka.pdf
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)
・学校関係者評価は本校が実施した教育活動及び自己評価に対し、意見を述べることにより行う。 ・外部評価の結果について、自己評価及び次年度の重点目標等に反映するよう努める。 (主な目標項目) ・実践力を重視した専門教育で、しあわせを創造する最前線で活躍する人材を育成する ・信州の豊かな自然、歴史、伝統を愛し誇りを持ち、社会福祉を通じて、持続可能な地域づくりに貢献する人材を育成する ・みんなのしあわせのために、自らとるべき行動を学び、考える力を養い、目標に向かって行動できる人材を育成する ・本校の魅力を発信し、誰からも愛される福祉人材を育成し、志の高い学生を確保する。

学校関係者評価の委員
・学校関係者評価は長野県福祉大学校後援会、長野県福祉大学校同窓会、社会福祉団体関係者（R7～）、高等学校関係者、長野県福祉大学校を支援する会の代表者（～R6）、近隣地域住民
学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.pref.nagano.lg.jp/fukushidai/documents/r6teigen.pdf
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.pref.nagano.lg.jp/fukushidai/index.html
--